分かっているつもりだったのかも？

数年前、わが子の小学校入学説明会に参加しました。その中で制服の説明があり、「制服は、標準服Ａと標準服Ｂのどちらかを選んで準備してください」とのことでした。

私は、『制服は１種類しかないのにＡとＢって何？』と頭の中に？？？が浮かびました。

配布されていたプリントに目を通すと、

標準服Ａ　〈ブレザー・ポロシャツ・ネクタイ・半ズボン〉

標準服Ｂ　〈ブレザー・ポロシャツ・リボン・スカート〉

と書かれていました。

それを見て私の頭の中は、『標準服Ａ＝男の子用、標準服Ｂ＝女の子用』と認識したと同時に、そう思った自分にハッ！っとしました。

ジェンダー教育や男女共同参画などが言われ始めてから早数十年、色とりどりのランドセル、看護師や保育士の男性、警察官や消防士の女性などが増え、性別に関係なく表現したり、社会で活躍することができるということを理解していました。

でも、理解しているつもりだったのかもしれません。

私が小中学生の頃は、ランドセルと言えば男の子は黒、女の子は赤、体操服も男の子は紺色、女の子はあずき色、出席番号は男の子→女の子の五十音順、制服も男の子はズボン、女の子はスカートが当たり前のなかで、なんの疑問も持たずに育ってきました。

頭の中では、ジェンダー教育や男女共同参画を理解していても、幼少期の自分の経験でこびりついた認識が、無意識に『ズボン→男の子』、『スカート→女の子』と変換してしまったのです。

ケータイのアプリのように、私の頭の中も一瞬でアップデートされたらいいのになと思いながら、自分が思っているよりもはるかにアップデートされていなくて情けないと反省させられた出来事でした。

SAKU